

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部	生涯学習推進担当	課	生涯学習課
---	----------	---	-------

施設名称	〔44〕 東京都台東区立社会教育センター					
指定管理者の名称	アズビル株式会社			指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都墨田区みどりコミュニティセンター等（計29件46施設）					
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	（単位：百万円）		
	25年 61,887	49,624	12,263			
	26年 65,096	51,076	14,020			
<b>2. 施設の概要</b>						
(1)所在地	台東区東上野6-16-8（上野小学校と併設）					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	主に社会教育関係団体。					
(4)開館日・時間	開館日：火～日曜：9:00～22:00 第2・4月曜：9:00～22:00 第1・3・5月曜：13:00～22:00 休館日：年末年始（12/28～1/4）設備点検日					
(5)規模	ホール130人 会議室40人 調理室32人 和室20人 温水プール 25m×15m（7コース）					
(6)人員体制	週40時間勤務 12名（清島温水プールも含む）					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2)自主事業	11講座実施 延べ37回 延参加人数 388人 サークルフェスタ参加人員 延参加人員 2,214人					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	76,019,000	77,001,000	68,024,000	67,488,000	70,099,000
	利用料金収入	2,560,000	2,600,000	2,180,000	2,260,000	2,370,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	78,579,000	79,601,000	70,204,000	69,748,000	72,496,000
決算	委託料	76,019,000	77,001,000	68,024,000	67,488,000	70,099,000
	利用料金収入	2,147,080	2,150,130	2,341,890	2,397,770	2,195,370
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	78,166,080	79,151,130	70,365,890	69,885,770	72,294,370
	収支	0	0	0	0	0
<b>5. 施設の稼働状況等（活動指標）</b>						
指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	
年間開館日数	日	355	354	355	355	
自主事業等講座	講座	20	18	16	15	
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称	単位	目標値 （28年度）	24年度	25年度	26年度	
利用率	%	50.0	53.4	54.5	48.5	
利用人数	人	30,500	32,229	32,253	30,010	

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み

みなで手作りする「イベント」である、サークルフェスタが、サークルにも区民の方々にも浸透・定着し、認知度が高まり、来館者数2,214名とこれまでで、最多となった。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた講座として、『タイ入門「微笑みの国」の文化と言葉にふれる!』を実施したところ応募多数で、魅力あるテーマとなった。

8. 評価項目  
 3: 協定等の水準を上回っている。  
 2: 協定等の水準どおりである。  
 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。  
 0: 協定等の水準を下回っている。  
 -: 評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [2]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価  
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	自主事業としてのサークルフェスタは、自主的な活動ができるようになり、また、区民の方々にも浸透・定着し、来館者数は、これまでの最多であった。参加者の裾野を広げるために、応募が多いと見込まれる講座の定員設定を考慮している。
(2)施設の維持管理	A	C 2排出量抑制と環境バランスを整合した省エネルギープログラムを導入。また、貸室の使用の無い時間帯は、空調機をタイマー停止に設定し、節電に努めている。
(3)利用者の満足度	A	利用者数が減少しているが、これは社会登録団体構成員の高齢化により、活動回数が少なくなったためである。活動用の荷物の保管や、調理室での活動後の活動ゴミの処理、傘の無料貸し出しなどが好評を得るなど細かい配慮を行い利用者の満足を得ている。
(4)収入支出	A	前年度より収入減となったが、これは、利用件数が減ったためである。運営に関しては節電も積極的に行うなど、効率的な運営を行い、適切な予算管理・予算執行を行っている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

**妥当**

サークルフェスタの自主運営が進み、参加サークルが活性化し、順調な事業運営となっている。また、利用者との関係も順調である。更に、独自の省エネシステムを導入し、節電に努めるなど、適切な施設運営を行っている。

11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応

サークルフェスタでは参加サークルの自主性を強め、利用サークルを活性化することや新しい団体を立ち上げるなどにより、利用件数や利用人数の増加に努める。また、引き続き2020年東京大会に向けて、関連した講座の充実を図る。